

授業科目名	海外授業研究演習
科目番号	CB23282
単位数	1.0 単位
標準履修年次	2・3 年次
時間割	秋BC 集中
担当教員	磯田 正美
授業概要	教師に限らず英語で仕事をするのが普遍的に求められる時代です。本授業では、日本の授業研究として知られる授業研究の方法を、小学校低学年の算数教材を通して英語で学びます。また、実際に海外実習する場合も含めて、様々な教科で求められる授業づくり方法を英語で習得します。
備考	G科目 対面
授業方法	演習
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識 教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	海外授業研究演習は、海外授業研究実習(インターンシップ)の予備教育として、英語による授業づくり、特に日本型授業研究の基礎的ノウハウを学ぶことを目的としています。教材研究を行い、指導案を作成し、仲間と共同してマイクロティーチングができるようになることまでを目標としています。
授業計画	前半では日本型授業づくりの在り方を、算数教科書教材を中心に学びます。後半は、指導案を提案し、マイクロティーチングを実施し、その内容を協議します。 第1回 日本型授業研究:よい先生とは? 第2回 日本型授業研究:目標、既習と未習 第3回 算数教材研究1 第4回 算数教材研究2 第5回 算数教材研究3 第6回 授業づくり演習1:指導案提案、マイクロティーチング、協議 第7回 授業づくり演習2:指導案提案、マイクロティーチング、協議 第8回 授業づくり演習3:指導案提案、マイクロティーチング、協議 第9回 授業づくり演習4:指導案提案、マイクロティーチング、協議 第10回 授業づくり演習5:指導案提案、マイクロティーチング、協議 海外授業研究演習は、海外授業研究実習を履修しない方の履修も歓迎します。教職には全く有益な学習内容ですが、教職科目、教育実習には該当しません。
履修条件	2年生以上。学類指定はありません。 海外授業研究実習(インターンシップ)の履修には、海外授業研究演習の履修が必修です。実習(インターンシップ)には、奨学金との関連で履修者数に上限があります。
成績評価方法	演習ですので、参加は必須です。授業中の討議内容、マイクロティーチングでの発表内容をもとに評点します。英語で授業を行いますので、英語でのディスカッションへの貢献50%、マイクロティーチングの貢献50%で評定します。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	12月~1月に、集中2日で実施します。マイクロティーチングの準備に6時間を要します。
教材・参考文献・配付資料等	1. Dominador Dizon Mangao, Nur Jahan Ahmad, Masami Isoda, SEAMEO basic education standards (SEA-BES) : common core regional learning standards (CCRLS) in mathematics and science
オフィスアワー等（連	教育開発国際協力研究センター(内線7287)

絡先含む)	isoda at criced.tsukuba.ac.jp http://math-info.criced.tsukuba.ac.jp/
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	本授業は、教育開発国際協力研究センターがグローバルコモンズと連携して提供します。インターンシッププログラムの実施母体は、本学が提携する東南アジア教育大臣機構、派遣先はタイ、インドネシア、フィリピンの本学協定校です。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー(TF)・ティーチングアシスタント(TA)	
キーワード	インターンシップ, 海外実習, 東南アジア, タイ, インドネシア, フィリピン, 授業研究, 教材研究, 指導案, 算数, マイクロティーチング